



シーズ3

治りにくい傷を治す新しい方法を探して

医学部 法医学講座 教授 近藤 稔和

キーワード：傷，褥瘡，糖尿病，災害応急セット，美容，ペット

シーズ概要

近年、高齢化の進展や糖尿病患者の増加により、傷の治りが遅くなるケースや褥瘡の問題が大きくなってきています。日常的に使いやすく、手軽に貼って使えるような治療薬の開発が求められています。

本研究室ではこれまで、創傷治癒に関する多くの研究を行っており、その仕組みに詳しい知識と経験を積んできました。そうした背景をもとに、傷や褥瘡に対して新しい治療方法を見つけることを目指しています。

応用が期待される分野・製品

1. 高齢者医療・在宅医療

褥瘡は要介護高齢者に特に多く、在宅での自己処置が可能な創傷治療材は大きなニーズがあります。貼るだけで治癒を促進できる製品は、介護者・家族の負担軽減にも寄与します。

2. 糖尿病性潰瘍の管理

糖尿病患者の足潰瘍（DFU）は重症化すると切断に至るリスクが高いため、慢性創傷に特化した治療薬の開発が急務です。

3. 災害・救急医療

傷口を素早く保護・修復する外用剤は、戦場や災害現場などの緊急環境下での使用に向いています（例：創傷被覆材を含む応急セット）。

4. 美容・皮膚再生医療

火傷・手術後の瘢痕形成予防など、再生医療的アプローチとの連携により、美容医療・形成外科への展開も可能です。

5. 獣医療

ペットや家畜の創傷管理にもニーズがあり、動物用創傷治療材の開発としての応用も期待できます。

企業に期待すること

当研究室では、基礎研究で得られた知見を社会に還元するため、産業界との積極的な連携を志向しております。特に、製品開発・臨床応用・市場展開を一体で考える企業との共創パートナーシップを通じて、高齢化社会の課題解決に寄与することを目指しています。

関連文献・特許等

1. doi: 10.1016/j.jid.2020.02.023. Epub 2020 Mar 14.

2. doi: 10.1016/j.jid.2019.05.022. Epub 2019 Jun 24.

3. doi: 10.1172/JCI43027.

4. doi: 10.4049/jimmunol.176.9.5598

5. doi: 10.4049/jimmunol.176.9.5598